

しなやかであれ、たくましくあれ

～創立記念日によせて～

10月15日は鳥羽高校の創立記念日です。京都府の条例により昭和58年10月15日に京都府立鳥羽高等学校が設置され、翌年4月1日に開校して以来、今年で36年目を迎えました。グローバル科の完成年度を迎え、長い歴史をもつ普通科とともに、特色ある教育を展開しているところです。

本校の校風である「文武両道」と「質実剛健」は京都府第二中学校から受け継いだもので、社会に出てからも自律した人間として常に成長を続ける原点となるものです。現代でも鳥羽高校には生徒一人一人が規律正しい生活を送り、真面目に努力することによって互いに高めあう集団があります。

Society 5.0の到来を間近に控え、人・物・金・情報が瞬時に世界を駆け巡るグローバル化がどんどん加速しています。AIやIoTが導入された多様で変化の激しい社会にあって、自己を確立し、新たな価値を生みだしていく創造力が必要とされる時代になりました。本校でも、モンゴル、韓国からの留学生を迎え、京都府教育委員会からスマートスクールの指定を受け、全普通教室に電子黒板機能付きプロジェクタが導入されました。また、文部科学省からは、高速の学術通信ネットワークシステム SINET の実証研究校に選ばれ、遠隔授業システムの運用開始に向けての研究を進めるなど、大きな変化が起こっています。来年度入学生からは、単位制を導入し、普通科では理数人文コース、文科スポーツコースをそれぞれリベラルアーツコース、スポーツ・教養コースと名称変更することが決まっています。

朝夕、校内に流れる校歌の一節に「先駆の誉れうけつぎて栄行くわれら」「世界を結ぶ語らひのおもひは永久に」があります。スポーツを愛し、伝統文化を大切に、グローバルな視野を養いながら、これからもすべての生徒のみなさんが、本校で学ぶことを誇りに思い、変化していく社会にあって力強く生きていく力を、学習、学校行事、部活動等をとおして身につけ、鳥羽高校の新たな歴史の1ページを拓いてくれることを願っています。

令和元年10月15日

京都府立鳥羽高等学校長 山埜 茂彦